様式第1号

事務事業評価表(一般事業)

評価対象年度	平成	28	年度
1次評価日(主幹等)	29 年	3 月	31 日
2次評価日(課長等)	29 年	5 月	31 ⊟

1 事業名 地域医療体制推進事業 44101

2 担当部課 部等健康福祉部 課等 健康推進課 作成者 上原 幸代

	□ 基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせる	まち	
	体 系 政 策	保健・医療の充実	施 策	医療体制の充実
3 事業概要	予算科目	保健衛生総務管理費	業務委託	全部委託
	実施義務	なし(選択的事業)	国県補助	なし
	根拠法令	医療法		

●事業の内容 (D0)

5 事業の実施内容 *28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・休日在宅当番医制事業・・・休日での初期救急医療確保のため、岡谷市医師会へ委託して実施した。

(実施日数) 72日 (受診者数) 2,893人 (委託料) 1,758,000円

前年度の課題への 対応

| 岡谷市民病院が平成27年度に開院し、夜間の成人急病人に対する医療体制の充実が | 図られた。

6	指標の達成状況 *活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度					
	区 分 2 6年度 27年度 28年度				29年度 (予算)	
	1	活動指標 (指標名)	年間総受診者数			単位
		実績値	3, 477	3, 288	2, 893	
* 指標の説明 平成28年度からは、休日在宅当番医制事業の受診者数				業の受診者数		
	2	成果指標 (指標名)	年間総受診者数			単位
		目標値	3, 564	3, 477	3, 288	2, 893
		実績値	3, 477	3, 288	2, 893	
		達成度	97. 6%	94. 6%	88. 0%	
		* 指標の説明	平成28年度からは、	休日在宅当番医制事	業の受診者数	
		*目標値の設定方法の説明	前年度実績値			

7 ア)コストの推移 [単位:円] *この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算) 補助金負担金名 26年度 27年度 28年度 **29年度** (予算) ① 直接事業費 4, 228, 400 4, 196, 400 1, 758, 000 1, 917, 000 4, 196, 400 1, 758, 000 経常経費 4, 228, 400 1, 917, 000 臨時的経費 * 臨時的経費の説明

補助金負担金名		担金名	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)	
(2	人件費		3, 200, 000	3, 200, 000	2, 400, 000	2, 400, 000
		正規職	員の人数(人)	0. 40	0. 40	0. 30	0. 30
(3	合計コ	スト (1+2)	7, 428, 400	7, 396, 400	4, 158, 000	4, 317, 000
		前年度	比		99. 6%	56. 2%	103. 8%
		財源	一般財源	7, 428, 400	7, 396, 400	4, 158, 000	4, 317, 000
		内訳	特定財源	0	0	0	0
		* 特定	財源の説明			•	
(4	活動一	単位あたりコスト	2, 136	2, 250	1, 437	
		前年度	比		105. 3%	63. 9%	
(5	コスト	に関する補足説明				

イ)補助金負担金の状況

[単位:件、円、%]

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金	合計金額	0	0	0	0
等合計金額及び割合	割合	0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%

^{*} 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8	妥当性評価*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。妥当性	高	い
	評価項目	はい	いいえ
	① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
	② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
	③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
	4 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
	⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9	有効性評価 * 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。 有効性	<u>標</u>	<u>準</u>
	評価項目	はい	いいえ
	① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
	② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
	③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
	④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 88.0%		0
	⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 88.0%		0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善 (少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 特記事項なし (上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特記事項なし 改善 方法 改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針 継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	В
------------------	-------------------------------------------	---